令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	世界大会を契機としたスポーツ振興事業			事業番号	12-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	髙橋　健一	スポーツ課	細野　徹	

計　画　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり	
		施策展開の方向	6	いつまでも学び生きがいがもてるまちをつくる	
		施策	12	誰もが親しめるスポーツ活動の推進	
予算事業名	スポーツ・レクリエーション活動推進事業費				
事務区分〔選択〕	◉ 自治事務　○ 法定受託事務		(選択してください)→	法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	～		終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム			計画期間	平成28年度～令和2年度
関連個別計画				計画期間	
実施の背景（事業を取りまく環境・市民ニーズ）	スポーツを取り巻く環境は、ICT（情報通信技術）の発達や少子高齢社会の進展により、市民の生活様式や価値観、余暇時間の使い方も変化し、スポーツに求められる役割も年代に応じ多様化しています。また、スポーツのビッグイベントであるラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も間近に控え、今後のスポーツへの期待や関心も日増しに高まっております。				
目　的（何をどうしたいのか）	世界大会の開催を契機に、市民誰もがスポーツに親しむ環境づくりとして、市民やスポーツ関係団体との協働により、関係種目の教室・講習会等を開催し、スポーツ振興の推進を図ります。				
主な対象（誰・何を対象に）	市民				
事業内容（手段、手法など）	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や聖火リレーの実施に向けた機運醸成とパラスポーツの普及のため、神奈川県や大学、関係団体と連携しながらボッチャやタグラグビーの教室などを継続して実施します。				

事業行程	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	タグラグビー教室・講習会	継続実施	継続実施
	オリパラ種目（ボッチャ等）教室・講習会	継続実施	継続実施

目　標	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	教室・講習会等の開催数	0回（令和2年度）	6回	6回

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	3密の回避や健康管理など徹底した感染症対策を施しながら市内の大学やスポーツ関係団体と連携し、ボッチャ体験教室やタグラグビー教室等を継続開催するとともに、世界大会の開催の機運醸成と市民誰もが運動・スポーツに親しむ環境づくりを図ります。

実施方法 〔選択・記入〕	◉ すべて直接実施		○ 左記以外	
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	
	☐ 補助金		補助先	
	☐ その他		具体の内容	

実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	タグラグビー教室・講習会	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止
	オリパラ種目（ボッチャ等）教室・講習会	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止

実施した取組の内容	新型コロナウイルスの影響により親子タグラグビー教室及びボッチャ教室は中止となりました。

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	教室・講習会等の開催数	0回 （令和2年度）	0回	0回

コスト	年度		令和3年度　実績		令和4年度 実績	
	事業費合計(a)		0	千円	0	千円
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円
		地方債　②	0	千円	0	千円
		その他特財　③	0	千円	0	千円
		一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	0	千円
	国県支出金の内容					
	その他特財の内容	受益者負担	○ 有　◉ 無	前回の改定時期		
		その他				

		令和3年度				令和4年度			
人件費	正規職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計(b)	0	人	0	千円	0	人	0	千円
トータルコスト (a)+(b)				0	千円			0	千円
単位当たりコスト	対象数 定義	教室等の開催数			単位	教室等の開催数			単位
	対象数 対象数	0			回	0			回
	総事業費／対象数				円				円

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	○ 計画どおり（A） ○ 概ね計画どおり（B） ◉ 計画どおり進捗せず（C）	C	**左記判断理由**	新型コロナウイルスの影響により各教室や講習会等の実施ができませんでした。
実施水準 〔選択・記入〕	○ 他市より高い水準で実施（A） ○ 他市と同水準で実施（B） ○ 他市より低い水準で実施（C） ◉ 一律に比較できない事業	―	**他都市の事業内容等**	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴う機運醸成を目的とした事業は、他市でも実施していますが、事業内容がそれぞれ異なるため、一律での比較は困難です。
有効性 〔選択・記入〕	◉ 高い（A） ○ 普通（B） ○ 低い（C）	A	**左記判断理由**	ラグビーワールドカップ及びオリンピック・パラリンピックの開催を契機としたボッチャ体験教室やタグラグビー教室は、運動・スポーツの楽しさに親しんでもらうとともにパラスポーツの普及もでき、良い機会となります。また、ラグビーワールドカップ2023が開催されることから、関連事業を実施するなど、更なるラグビーへの理解や関心を深めるのに有効と考えます。
効率性 〔選択・記入〕	◉ 効率的に実施されている（A） ○ 改善の余地がある（B） ○ 抜本的な改善が必要である（C）	A	**左記判断理由**	市内にある専修大学や市スポーツ推進委員と連携・協力し、体験教室や試合観戦ツアーを効率的に進めることにより、スポーツの面白さや楽しさに親しみながら、パラスポーツ及びラグビーの理解や関心を深めるきっかけとなります。

取組内容の改善　（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーや各競技の世界大会の開催により、スポーツへの関心が高まっている中、スポーツに親しむ環境づくりが重要と考えます。また、県や大学、関係団体と連携しながら、タグラグビー教室やボッチャ体験教室などを開催することにより、関連競技の市民周知を図るとともに、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの推進を図っていくことが大切と考えます。